

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

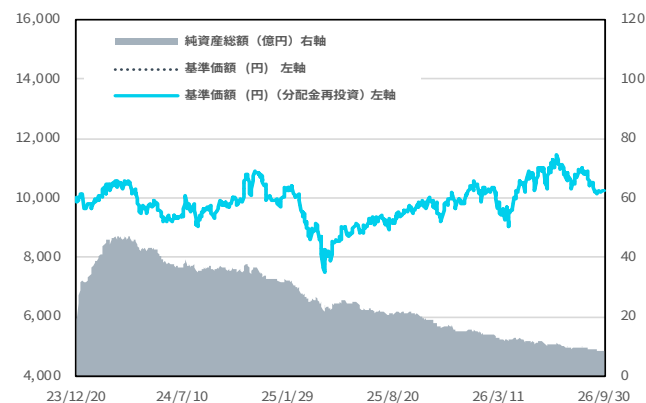
追加型投信／海外／株式



■Aコース（為替ヘッジあり）

基準価額	10,223円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	8.7億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-3.76	-9.34	13.06	6.46	-	2.23

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25	第2期 '25/4/25	第3期 '26/4/27		累計
分配金	0円	0円	0円		0円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

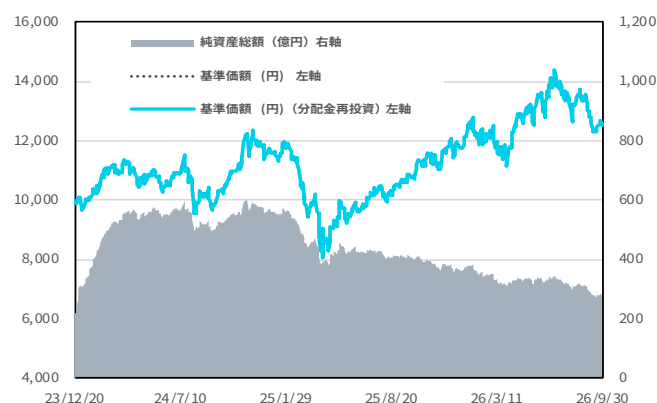
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Bコース（為替ヘッジなし）

基準価額	12,533円	設定日	2023年12月20日
純資産総額	279.2億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年4月25日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-5.38	-11.47	12.53	15.79	-	25.33

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1期 '24/4/25	第2期 '25/4/25	第3期 '26/4/27		累計
分配金	0円	0円	0円		0円

※基準価額は1万口当たりです。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式

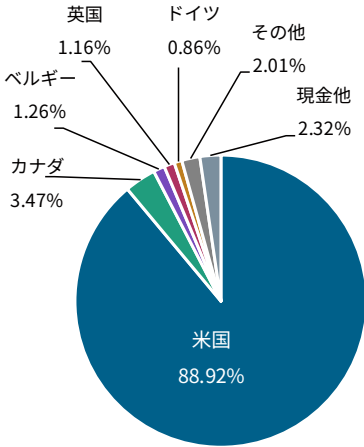


ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン株式マザーファンドの状況

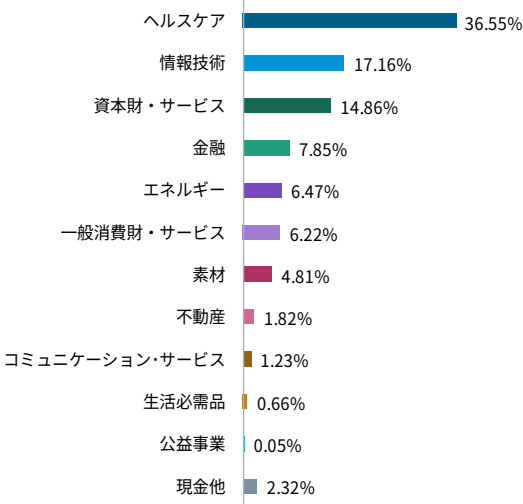
資産配分

株式等	97.68%
現金他	2.32%
合計	100.00%

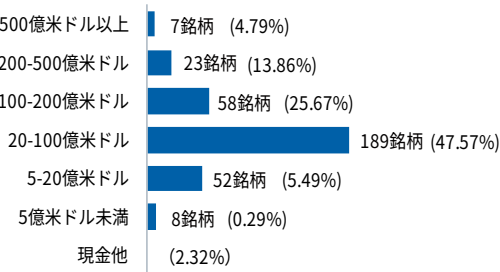
国・地域別配分（上位5ヵ国）



セクター配分



時価総額別銘柄数（比率）



※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類によります。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：337銘柄）

	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	ガーダントヘルス	ヘルスケア	米ドル	米国	2.34%
2	10Xゲノミクス	ヘルスケア	米ドル	米国	1.97%
3	ナテラ	ヘルスケア	米ドル	米国	1.89%
4	Dutch Bros Inc	一般消費財・サービス	米ドル	米国	1.89%
5	Permian Resources Corp	エネルギー	米ドル	米国	1.82%
6	キメラ・セラピューティクス	ヘルスケア	米ドル	米国	1.54%
7	レプリジェン	ヘルスケア	米ドル	米国	1.54%
8	テレダイン・テクノロジーズ	情報技術	米ドル	米国	1.46%
9	オールド・ドミニオン・フレイト・ライン	資本財・サービス	米ドル	米国	1.32%
10	ツイスト・バイオサイエンス	ヘルスケア	米ドル	米国	1.28%
合計					17.06%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類によります。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

9月の米国小型グロス株式市場（ラッセル2000グロス指数）は、前月末比で下落しました。

月初は強含みでのスタートとなりましたが、その後は強い雇用統計やインフレ率の高止まりを受けて米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ観測が強まったことから、株価は下落基調となりました。また、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やインフレへの警戒感に加え、月半ばにFRBが政策金利の引き上げを決定し、追加利上げの可能性を示唆したことも株価の重石となりました。月後半には、原油高の一服などを受けて株価が持ち直す局面もありましたが、市場予想を上回る購買担当者景気指数（PMI）などを受けてFRBの追加利上げへの警戒感が強まり、長期金利が上昇したことから、株価は再び下落基調となりました。

ラッセル2000グロス指数のセクター（世界産業分類基準（GICS）に基づく11セクター）別のパフォーマンスでは、「情報技術」を除き、「素材」、「エネルギー」など大半のセクターが下落しました。

* 上記はすべてトータルリターン、米ドルベース

■運用概況

9月のファンドの騰落率は、Aコース（為替ヘッジあり）が-3.76%、Bコース（為替ヘッジなし）は-5.38%となりました。

組入銘柄では、10Xゲノミクス（遺伝子解析技術を提供するライフサイエンス・テクノロジー企業）やナテラ（DNA検査による診断サービスを提供する企業）などが、プラス寄与上位となりました。10Xゲノミクスは、AIによる創薬プロセスの効率化が期待される中、同社の製品が重要な役割を果たすとの期待が高まり、株価が上昇しました。ナテラは、がん診断用の血液検査が日本で承認されたことや、バイオテクノロジー分野でのAI活用拡大が同社の製品やデータにもたらす恩恵への期待から、株価が上昇しました。

一方、Dutch Bros Inc（ドライブスルー型のコーヒー・飲料チェーン）やオールド・ドミニオン・フレイト・ライン（トラックによる小口貨物輸送を手がける運送会社）が、主なマイナス寄与要因となりました。Dutch Bros Incは、個人消費を取り巻く厳しい環境の中、売上高の伸び鈍化見通しが懸念材料となり、株価が下落しました。当運用では、モバイル注文・決済機能の利用拡大や朝食メニューの拡充が客数増加と既存店売上高の成長を後押しするほか、店舗展開の拡大に伴う成長機会も大きいとみています。オールド・ドミニオン・フレイト・ラインは、燃料費の高止まりや景気の先行きに対する懸念などが重石となり、株価が下落しました。当運用では、厳しい事業環境下でも着実な事業運営と成長を実現する同社の経営力を評価しています。貨物輸送業界の回復時には、同社の質の高い輸送サービスによる市場シェアの拡大と、これに伴う利益率の改善が期待できると考えています。

■今後の見通し

当運用では、AIを単なるデータセンター関連の投資テーマではなく、幅広い産業に変革をもたらす本格的な技術革新のサイクルと捉えています。これまでAI関連投資は大型企業によるインフラ構築が中心でしたが、今後は応用の段階へと進むにつれ、企業規模による優位性が薄れ、新興の小型成長企業にも投資機会が広がると考えています。1990年代後半以降のインターネット普及期でも、その応用期には小型株が大型株を長期間にわたり上回るパフォーマンスを示しました。運用チームは、AIの普及拡大によって同様の変化が起こる可能性があると考えており、今後数年にわたって、新興の小型成長企業がより重要な役割を果たし、小型株が優位となる可能性があると考えています。

具体的には、ロボティクスやバイオテクノロジー、防衛技術、ソフトウェア、AIを活用した商取引、医療技術など、幅広い分野に成長機会が広がるとみています。当運用では、AIを積極的に取り入れ、変化に柔軟に対応し、必要に応じて自らの事業モデルを変革する意欲のある企業が、こうした成長機会を捉えたと考えています。また、AIの技術革新に伴う変化は必ずしも一直線に進むものではなく、その過程で生じる株価の変動や銘柄間のパフォーマンス格差は、今後持続的な成長を遂げる可能性のある小型企業を見極める好機にもなると考えています。

このような成長機会の広がりを見据え、当運用では、AIインフラ関連企業とAI活用の恩恵が期待される企業への投資のバランスを図るとともに、インフレ動向の影響を受けやすいエネルギー・素材関連企業への投資を継続し、独自の調査を通じて有望な投資機会を見いだしているバイオテクノロジーなどの分野への投資を選別的に拡大するなど、ポートフォリオの調整を行ってまいります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、原則として、米国の小型株式の中で、成長性が高いと判断される企業の株式等に投資を行います*。なお、米国以外の企業の株式等にも投資する場合があります。

* 当初ポートフォリオ構築時および小型株式が中型・大型株式へ成長したことにより継続保有する場合等には、中型・大型株式が組入れられることがあります。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ*1」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*2のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク（ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。）は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、米国の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式（米国預託証券（ADR）等を含みます。）の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

小型株投資リスク

当ファンドは、小型株式を投資対象としますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式に比べ価格の変動性（ボラティリティ）が高い傾向があります。こうした企業は、十分な資金を確保できない、業歴が短い、事業内容が多様ではないなどの理由から事業後退のリスクが高くなる可能性があり、ファンドの基準価額に影響します。

為替変動リスク

Aコースは、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。

Bコースは、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライスニュー・ホライズン・ファンド
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式



お申込みメモ

購入時	購入単位	一般コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 ※購入後のコース変更はできません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	信託期間	原則として無期限(設定日:2023年12月20日)	
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・各ファンドについて受益権口数が50億口を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
	購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。			
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	決算日		毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。	収益分配	年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	
申込について	申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※販売会社によっては上記と異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。	その他	信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、1日1件10億円を超える換金はできません。また、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。		公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。		運用報告書	毎年4月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対して提供・交付します。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。		スイッチング	AコースとBコースの間でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。当ファンドはNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。			

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
購入時手数料	購入金額(購入申込日の翌営業日の基準価額×購入口数)に対し、以下の手数料率を乗じた額とします。		運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年1.738%(税抜1.58%) の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。	
	購入代金	手数料率			
	1億円未満	3.30%(税抜3.0%)	その他の費用・手数料	信託事務の諸費用等	法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%(税抜0.1%)を上限とする額が毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)			組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
	5億円以上	0.55%(税抜0.5%)		売買委託手数料等	
信託財産留保額			ありません。		
			※購入代金=購入口数×基準価額+購入時手数料(税込) ※スイッチングによる購入の場合は無手数料とします。		

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズン・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式



収益分配金に関する留意点

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

■ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じることがあります。ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。これらの見解はティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク及びその関係会社の見解とは異なる場合があります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグローヒル・カンパニーズ傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その獨創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

詳しくは、契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

受託会社：野村信託銀行株式会社

NOMURA**野村證券**

商号等：野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号

加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人金融先物取引業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会／

一般社団法人日本STO協会

設定・運用は

**T.RowePrice**

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

お申込み・
投資信託説明書
(交付目論見書)の
ご請求は